Sustainability Report 2026

TAKAMAZ
高松機械工業株式会社

CONTENTS

企業紹介 … P2

社長メッセージ … P3

サステナビリティ方針 … P4

ESG取り組み事例 … P5～7

ESGデータ集 … P8～10

編集方針

- **報告対象範囲**　高松機械工業株式会社単体
- **報告対象期間**　2025年度(2025年4月～2026年3月)の活動について報告
  ※対象期間前後の活動も一部含む
- **掲載場所**　当社ホームページにて公開
  URL：https://www.takamaz.co.jp/sustainability/
- **発行部門**

高松機械工業株式会社
管理本部　企画経理部　経営企画課
E-mail：k-kikaku@takamaz.co.jp
TEL：076-274-1410　　FAX：076-274-1418

経営理念

TAKAMAZ　は「社会に貢献」する。

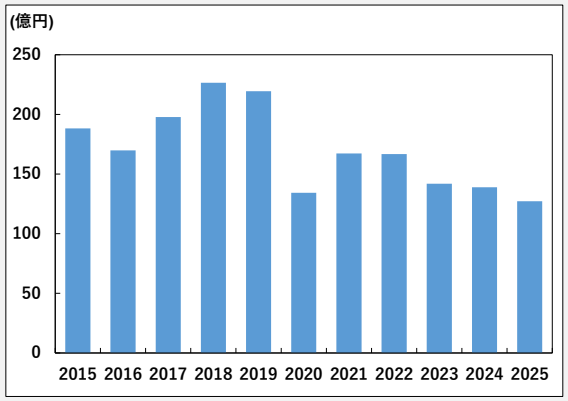
お客様には、安全でメリットのある商品を
従業員には、生活の安定と希望を
株主には、適切な配当を
提供すると共に、協力企業とも共存共栄の精神をもって、
社会の発展に積極的に貢献する。

企業概要（2025年度末現在）

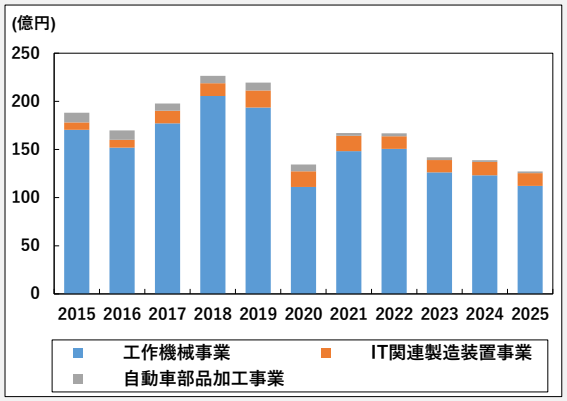
会社名	高松機械工業株式会社
設立年月日	1961年7月1日
本社所在地	石川県白山市旭丘1-8
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場 （証券コード　6155）
連結売上高	127億22百万円
正社員数	連結：524名　単体：469名（平均年齢　40.2歳）
生産拠点	・本社工場　・あさひ工場　・第２工場 ・第３工場　・開発センター
国内拠点	・関東支店　・名古屋支店　・大阪支店 ・東北営業所　・北信越営業所　・厚木営業所 ・浜松営業所　・広島営業所
海外拠点	・TMU(アメリカ)・TME(ドイツ)・TMT(タイ) ・喜志高松(中国)・友嘉高松(中国) ・PTTI(インドネシア)・TMVN(ベトナム) ・TMMX(メキシコ)

業績（連結）

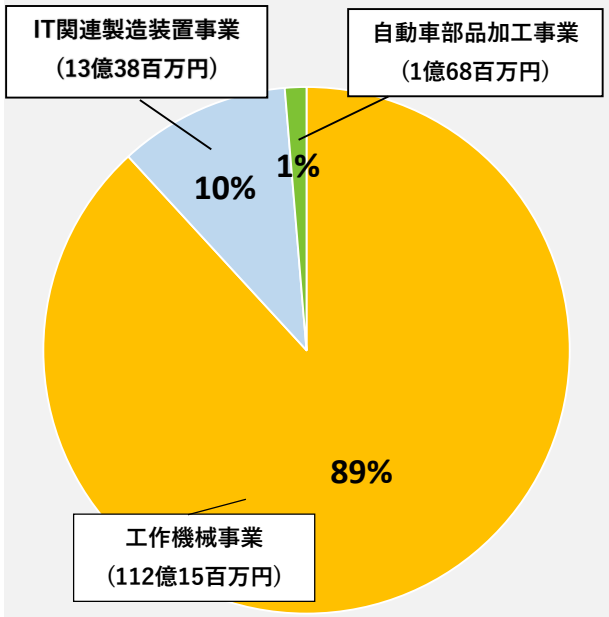
■連結売上高



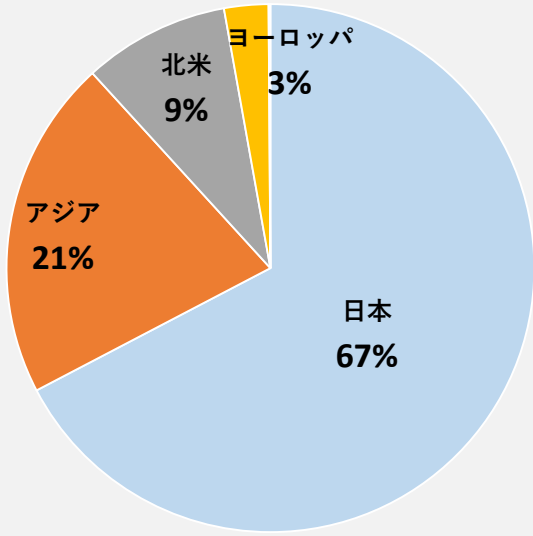
■セグメント別連結売上高



■セグメント別構成比（2025年度）



■地域別構成比（2025年度）



TAKAMAZの企業概要の詳細はHPにも掲載しています。下記リンクよりご確認ください。
・「TAKAMAZってどんな会社？」⇒(https://www.takamaz.co.jp/company/about/)　・「5分で分かる！高松機械工業」⇒(https://www.takamaz.co.jp/column/3045/)

社長メッセージ

人々、社会に求められる企業であるために、持続可能な経営を推進します

代表取締役社長　髙松　宗一郎

はじめに

ステークホルダーの皆様には、当社に対するご理解、ご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

昨今、国内外の情勢は不透明さを増しておりますが、当社は常に人々、社会に求められる企業であるために、社員とともに持続可能な経営を推進しています。

CO_2削減への取り組み

大気中のCO_2の増加が原因とみられる異常気象は、毎年、事業者にとって大きなリスクであり、向き合うべき重要な課題です。当社は、節電や再生エネルギーの利用、当社製品の性能向上によるCO_2排出削減に取り組んでいます。

再生エネルギーでは、当社は太陽光発電の利用を推進しており、企業活動で使用する電力の一部を充当しています。

当社はこれまで２年にわたり、当社敷地内での太陽光発電に取り組んできましたが、2025年度はオフサイトPPAによる太陽光発電に挑戦しました。オフサイトPPAとは、当社敷地外で太陽光発電を行う新たな取り組みとなります。

当社では、企業活動における再生可能エネルギーの活用を積極的に進めており、今回のオフサイトPPA導入も約1年をかけて準備を進めてきました。この取り組みにより、再生可能エネルギーの利用割合をさらに高め、CO_2排出量の削減につなげることができました。

当社製品の性能向上では、一部の製品において工場床付近の温度変化の少ない空気を機械内に換気循環させることで機械内部の温度を一定にして省エネ効果をもたらす技術の導入も進めました。

この他、資源の再利用など日々の企業活動において様々な取り組みを行い、環境負荷低減に努めています。

人材育成による社会貢献

当社は毎年、大学・高等専門学校・高校での講義やインターンシップの受け入れを積極的に行っており、地域の学生の成長につながる交流を推進しています。

2025年度も、当社技術部の社員などを中心に、様々な学校での講義やインターンシップを実施しました。技術的なものから、地元の工作機械メーカーとして工作機械が産業に果たしている役割、地域や国際社会とどのようにつながっているかなど幅広い内容を学んでもらうことができました。

このような機会を通じて、当社の事業や、工作機械に対する興味と理解を深めてもらいたいと思います。

健康経営戦略マップの策定と実行

当社は2025年度に「健康経営戦略マップを策定しました。

当社ではこれまでも、社員の心身の健康を重要な経営資源と位置づけ、継続的に健康支援施策を推進してきましたが、本マップの策定により、会社のビジョンや理念の実現に向けて何に取り組むべきかを明確にしました。

今後もこの戦略マップに基づき、「従業員の健やかな働き方」と「企業価値の向上」の両立を目指し、健康経営を推進していきます。

今後の展望

私たちは、経営を進めるうえで、企業を取り巻く環境や多様な人々とのつながりこそが最も重要な資本であると考えています。今後もこれらを大切にしながら取り組みを進めてまいりますので、引き続き一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

TAKAMAZのサステナビリティ

●サステナビリティ基本方針

**「TAKAMAZは、常に挑戦し続けるモノづくりを通じて、
企業価値の向上と持続可能な社会の実現に貢献します。」**

高松機械は、「社会に貢献する」を経営理念に、
創業以来モノづくりに取り組んできました。

近年、SDGs・カーボンニュートラルなど、サステナビリティを
巡る様々な社会課題が山積しており、 企業活動を通じて、
これら課題解決への貢献が求められています。

これら課題への取り組みが、 当社経営理念「社会に貢献する」と同じゴールに
向かっていると確信しています。
私たちは、企業価値の源泉であるモノづくりを通じて、これからも
持続可能な社会の実現に貢献していきます。

●サステナビリティ推進におけるマテリアリティ

事業活動に関わるさまざまな課題のなかから、「ステークホルダーにとっての重要度」と「自社が社会・環境・経済に与える重要度及び自社の経営にとっての重要度」の2つの視点のもと取り組みの検証を行い、以下の5つのマテリアリティ（重要課題）を定めました。

マテリアリティ（重要課題）とその選定理由

・Environment（環境）

「環境負荷の低減」
私たちは、地球環境の保全と利用のバランスを維持し、持続可能な世界を目指すことを、重要な社会課題と認識しています。
環境負荷を意識した工作機械の開発や、生産・販売活動における環境負荷軽減に取り組んでいきます。

・Social（社会）

「品質と安全性の追求」
私たちは、お客様からの信頼を得て、長期的な関係構築を促進していくため、生産や安全・安心・高品質な製品を安定的に
提供することを追求していきます。

「地域社会発展への貢献」
私たちは、本社・国内各拠点・海外グループ各社それぞれの地域社会と共に事業活動を行っております。地域社会と共生し、
成長発展する好循環を生み出していきます。

「社員の成長支援と働きやすい環境の整備」
私たちは、社員一人一人が、働きがいをもって挑戦し成長することのできる環境を整備し、会社と共に成長する好循環を
生み出していくとともに、健康で安全に働くことのできる環境を整備していきます。

・Governance（ガバナンス）

「経営基盤・ガバナンスの持続的な強化」
私たちは、企業活動の土台である経営基盤やガバナンスの強化を重要な課題と認識しています。
上場企業として、コーポレート・ガバナンスに基づいた持続可能な経営を行っていきます。

●サステナビリティ体系図

	分類	マテリアリティ（重要課題）	取り組み方針	SDGsの達成
E S G	E 環境	環境負荷の低減	地球に優しい製品の開発・提供	
			企業活動でのCO2排出量の削減	
	S 社会	品質と安全性の追求	安全・安心・高品質な製品の安定的な提供	
		地域社会発展への貢献	協力企業との共存共栄	
			地域社会とのつながり強化	
		社員の成長支援と働きやすい環境の整備	新人事制度の整備・運用	
			健康・安全な職場環境の整備	
			挑戦し、成長し続ける社風の醸成	
	G ガバナンス	経営基盤・ガバナンスの持続的な強化	会社運営における全社最適化の推進	
			事業ポートフォリオの見直しと収益力の強化	
			積極的なＩＴの活用	
			情報セキュリティの向上	

E（環境）

環境面では、省エネ・省スペースな新製品開発に注力し、環境負荷の低い製品をお客様に提供するとともに、認証取得しているISO14001に基づき、環境方針と環境目標の達成をはかってきました。

マテリアリティ（重要課題）とその選定理由

「環境負荷の低減」

私たちは、地球環境の保全と利用のバランスを維持し、持続可能な世界を目指すことを、重要な社会課題と認識しています。環境負荷を意識した工作機械の開発や、生産・販売活動における環境負荷軽減に取り組んでいきます。

取り組み方針と達成目標

取り組み方針	SDGsの達成
地球に優しい製品の開発・提供	
企業活動でのCO2排出量の削減	

取り組み事例

オフサイトPPAを利用した太陽光発電によるCO_2排出量の削減

当社はこれまで、本社やあさひ工場に太陽光発電設備の設置を行い、再生エネルギーの活用を推進してきましたが、2025年９月より新たに、富山県射水市においてオフサイトPPAによる太陽光発電を開始しました。

オフサイトPPAとは、第三者により敷地外に設置された発電設備の電力を送電網を通じて供給することで、遠隔地の工場でも再生エネルギーの使用が可能となる契約です。当設備の稼働により年間約40万kWhの発電と、約206トンのCO2排出削減効果が見込まれており、これまでの当社の行ってきた太陽光発電に関する取り組み全体で、年間必要電力量の約17％をカバーし、CO2排出量の約16％を削減することが期待されます。

今後も引き続き、太陽光発電等を通じて再生可能エネルギーの利用拡大に取り組んでいきます。

富山県射水市の太陽光設備の様子

省エネ空冷システムを搭載した「ＸＷＴ－８」の受賞

当社の「ＸＷＴ－８」が第55回　機械工業デザイン賞IDEA「日本デザイン振興会賞」を受賞しました。本機の最大の特徴は、加工精度を安定化するための省エネ空冷システムです。工場環境下において床面近くの空気層は、床面との熱交換によって比較的安定した温度に保たれており、その空気層を利用することで、機械の温度を均一化し加工精度を安定化する機能を搭載しました。水による冷却から空気による冷却に変更したことで、エネルギー使用量の低減を実現しています。

今後も、環境負荷の低減に貢献する製品の開発に努めていきます。

ＸＷＴ－８

S（社会）

社会面では、高い技術を誇る製品を安定供給するとともに、地域社会の一員として社会の期待に応えてきました。

マテリアリティ（重要課題）とその選定理由

「品質と安全性の追求」

私たちは、お客様からの信頼を得て、長期的な関係構築を促進していくため、生産や安全・安心・高品質な製品を安定的に提供することを追求していきます。

「地域社会発展への貢献」

私たちは、本社・国内各拠点・海外グループ各社それぞれの地域社会と共に事業活動を行っております。地域社会と共生し、成長発展する好循環を生み出していきます。

「社員の成長支援と働きやすい環境の整備」

私たちは、社員一人一人が、働きがいをもって挑戦し成長することのできる環境を整備し、会社と共に成長する好循環を生み出していくとともに、健康で安全に働くことのできる環境を整備していきます。

取り組み方針と達成目標

取り組み方針	SDGsの達成
安全・安心・高品質な製品の安定的な提供	
協力企業との共存共栄	
地域社会とのつながり強化	
新人事制度の整備・運用	
健康・安全な職場環境の整備	
挑戦し、成長し続ける社風の醸成	

取り組み事例

未来推進チームによる活動

「家族・友人に誇れる会社」を目指し、2022年度に中堅・若手社員で結成された未来推進チームは、2025年度も様々な活動を実施しました。

社内表彰制度の企画・運営や座談会の開催、社外イベントへの参加を通じて、部門を超えた交流と組織の一体感醸成を図り、より魅力ある職場環境づくりに取り組みました。

取り組みの一例

項目	内容
タカマツアワード2026	社内表彰制度
涼感ポロシャツの制服化	昨年度試験導入のポロシャツを制服化
社長との座談会の実施	経営者との意見交換、相互理解の促進
リレーマラソンイベントへの参加	社員の部門間交流の促進

学生向けインターンシップの推進

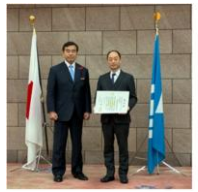
当社では、就業体験の機会を通じ、モノづくりや、当社についての理解を深めてもらうことを目的として、県内や近県の学生向けにインターンシップを実施しています。2025年度も多くの学生が参加し、実際の作業等を通じて多くを学んでもらいました。引き続き学生の皆さんに向けて工作機械と当社の魅力を発信していきます。

インターンシップの様子

ワークライフバランスの推進

当社は令和７年度石川県ワークライフバランス企業知事表彰「優良企業賞」を受賞しました。当表彰は、ワークライフバランスを実現するため職場環境の整備等を積極的に取り組み、優れた成果がみられる企業を県が表彰するものです。当社は様々な休暇制度の整備・取得の奨励や、残業抑制の取り組みを積極的に推進しており、そのような取り組みが今回評価されました。

引き続き、働き甲斐と働きやすさの両立した魅力ある会社を目指して取り組んでいきます。



G（ガバナンス）

ガバナンス面では、すべてのステークホルダーから信頼され、魅力ある企業となるべく、最適な体制の構築と強化をはかってきました。

マテリアリティ（重要課題）とその選定理由

「経営基盤・ガバナンスの持続的な強化」

私たちは、企業活動の土台である経営基盤やガバナンスの強化を重要な課題と認識しています。上場企業として、コーポレート・ガバナンスに基づいた持続可能な経営を行っていきます。

取り組み方針と達成目標

取り組み方針	SDGsの達成
会社運営における全社最適化の推進	
事業ポートフォリオの見直しと収益力の強化	
積極的なＩＴの活用	
情報セキュリティの向上	

取り組み事例

中期計画2027の推進

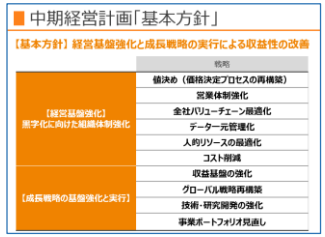
当社は、中期計画2027の一年目として経営基盤強化のうち、以下３つを中心に推進しました。

「値決め」：社内システムの活用を進めて、これまで見えにくかったコストを可視化。

「営業体制強化」：営業情報の共有方法やバックオフィス業務を見直し。

「全社バリューチェーンの最適化」：顧客ニーズの把握⇨提案⇨受注までの各プロセスを見直して課題点を一つずつ改善。

2026年度も引き続き経営基盤強化に向けての取り組みに注力するとともに、成長戦略の基盤強化に向けた各種取り組みも推進し、収益性の改善にむけて全社一丸で取り組んでいきます。



情報セキュリティ向上への取り組み

当社情報システム部は、情報セキュリティ対応力の向上を目的に、毎年、石川県警察本部サイバー犯罪対策課主催のコンテストへ参加しています。県内企業15～20社が競う中、今年度は優秀賞を獲得しました。日々変化するサイバー脅威に対応するため、継続的な研鑽を重ね、企業のリスク低減に取り組んでいます。

ミッション・ビジョン・バリュー（MVV）の浸透へ

2024年度策定した「ミッション・ビジョン・バリュー（MVV）」は、社員全員が目線を合わせて目標に向かって進むための指針です。2025年度はそれを広く社員に認知・理解してもらうために、全社員向けに説明会や理解度テストの実施、経営者や部門長へのMVVに関わるインタビュー記事の発行など様々な取り組みを行いました。

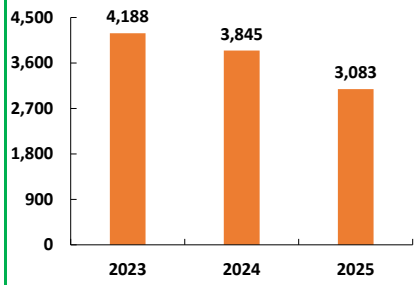
引き続き社員への浸透を図るべく様々な取り組みを進めていきます。

ESGデータ(1)

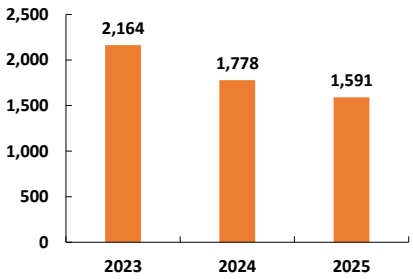
・報告対象期間　　2025年度(2025年4月～2026年3月)

●環境に関するデータ

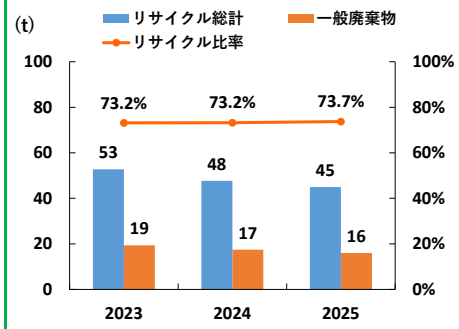
■Scope1+2 温室効果ガス排出量



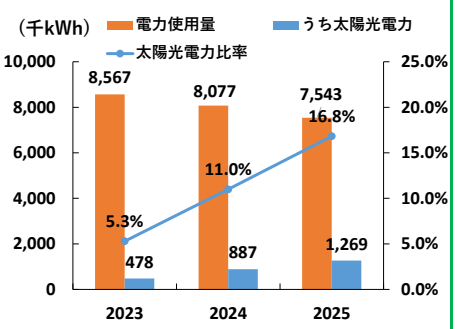
■原油換算エネルギー使用量



■リサイクル量と一般廃棄物量

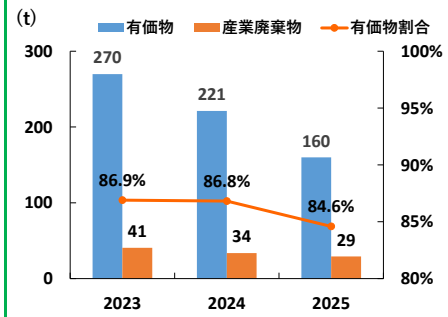


■電力使用量

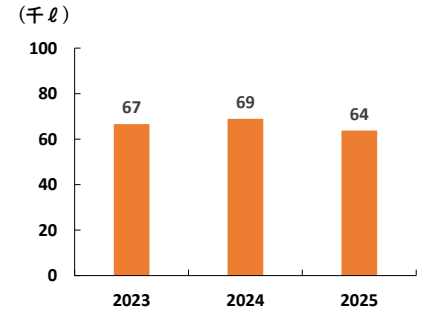


※ 2023年度夏より太陽光発電設備が稼働

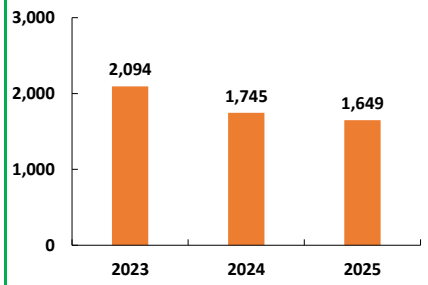
■有価物量と産業廃棄物量



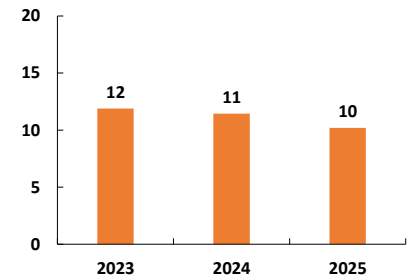
■廃油



■コピー用紙使用量

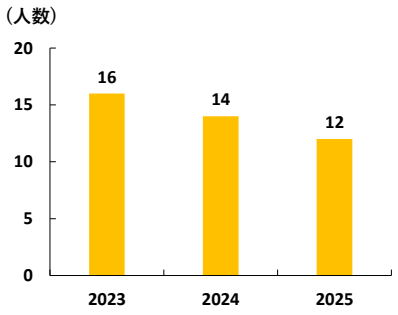


■廃プラ類

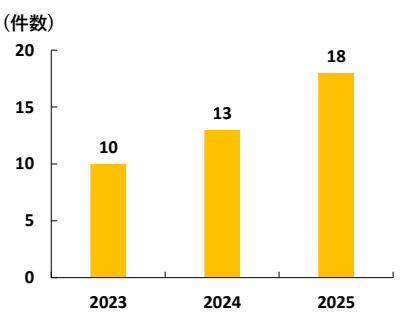


社会に関するデータ

■インターンシップ受け入れ人数

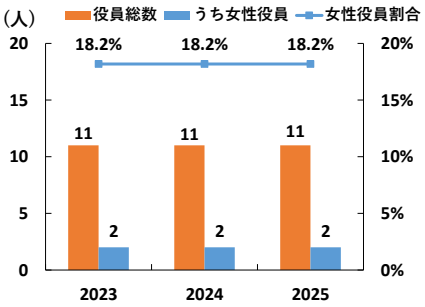


■工場見学受け入れ件数（学校・各種団体）

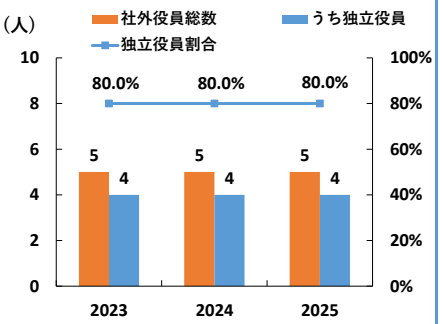


●ガバナンスに関するデータ

■役員総数と女性役員



■社外役員総数と独立役員

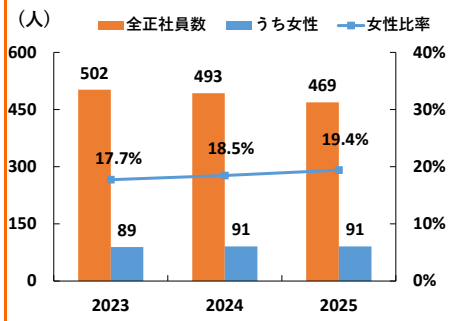


ESGデータ(2)

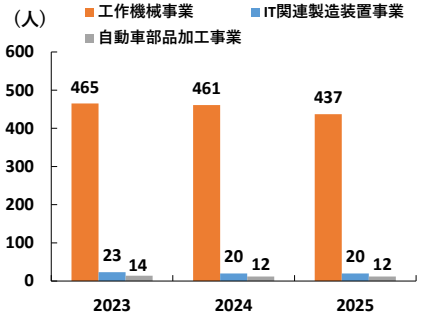
・報告対象期間　　2025年度(2025年4月～2026年3月)

●正社員に関するデータ

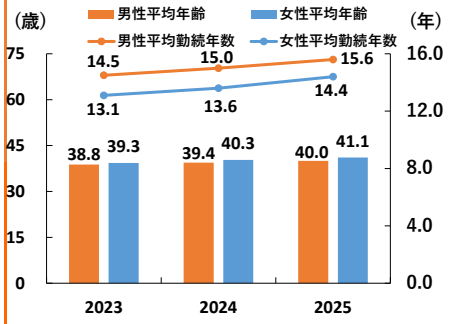
■正社員数



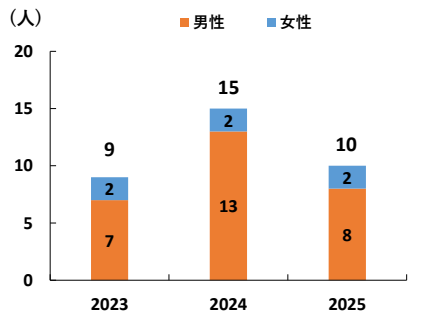
■事業別正社員数



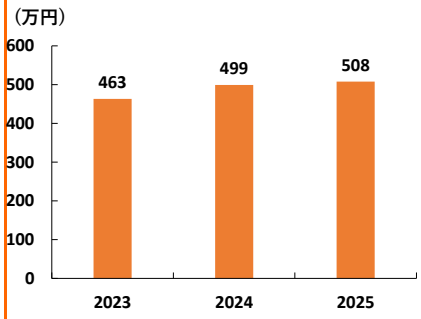
■平均年齢と平均勤続年数



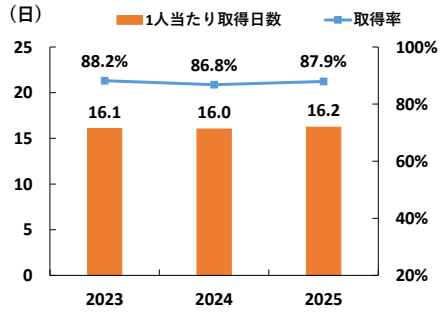
■新規採用者数



■平均年間給与



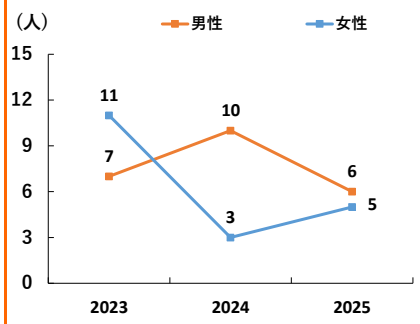
■有給休暇取得日数と取得率



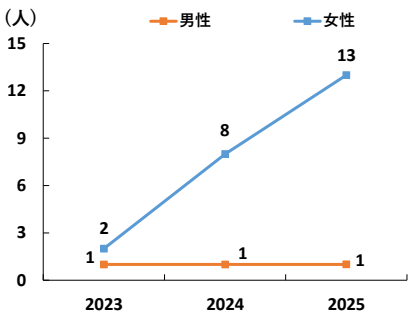
■仕事と家庭の両立支援制度

制度名	制度概要
育児休業	子供が１歳になるまで（条件を満たす場合は２歳まで延長可）
介護休業	対象家族１人につき通算93日まで（３回を上限として分割取得可能）
育児時間短縮勤務	子供が小学校に入学するまで
介護時間短縮勤務	介護短時間勤務利用開始から３年の間で２回以上

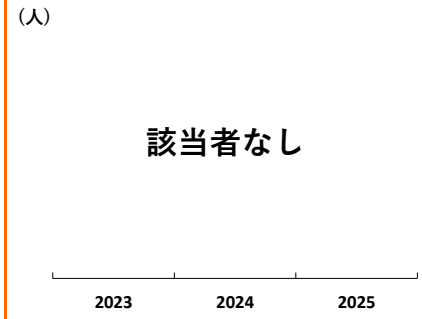
■育児休業者数



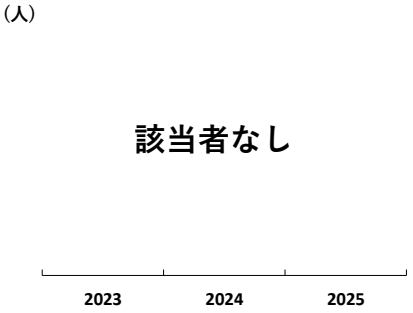
■育児時間短縮勤務者数



■介護休業者数



■介護時間短縮勤務者数



ESGデータ(3)

・報告対象期間　　2025年度(2025年4月～2026年3月)

●教育に関するデータ

■スキルアップ・キャリアアップの支援

TAKAMAZは社員のスキルアップ・キャリアアップへの支援に力を入れており、階層別・専門教育を計画し、実施してるほか、随時OJTを行っています。

また、国家技能検定等、奨励資格を設定し、社員の自己啓発も促しています。会社指定の資格を取得した場合にはその重要度や難易度に応じて奨励金を支給し、自己啓発のための通信教育には受講料を補助しているほか、国内の大学院や研究所の社会人過程で学ぶ社員を対象に、学費の補助も行っています。

■奨励資格の合格人数

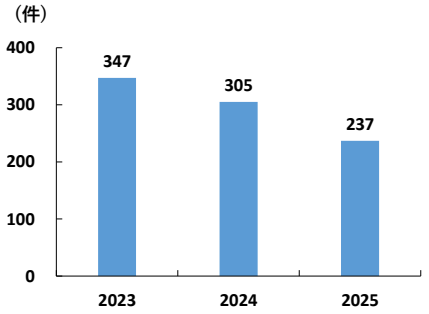
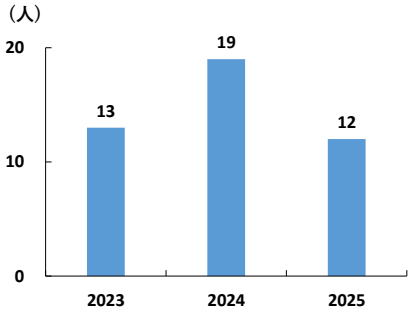
科目	2023年度 (人数)	2024年度 (人数)	2025年度 (人数)
国家技能検定 (特級)	2	1	-
国家技能検定 (１級)	13	10	19
国家技能検定 (２級)	25	18	25
QC検定 (２級)	1	-	1
ビジネスキャリア検定 (２級)	2	1	1
安全保障輸出管理 実務能力認定	1	-	1
合計	44	30	47

■主な奨励資格の保有人数

	科目	2025年度末 (人数)
国家技能検定 (計人)	国家技能検定 (特級)	12
	国家技能検定 (１級)	129
	国家技能検定 (２級)	195
その他資格 (計人)	ＱＣ検定 (２級)	6
	ビジネスキャリア検定 (２級)	49
	知的財産管理技能士※1 (２級)	3
	実用英語技能検定 (準１級)	2
	第１種衛生管理者	9
	その他※2	3

※1　旧知的財産検定を含んでいます。
　2　その他には、技術士、社会保険労務士などを含んでいます。

■教育実施件数



■通信教育の利用人数